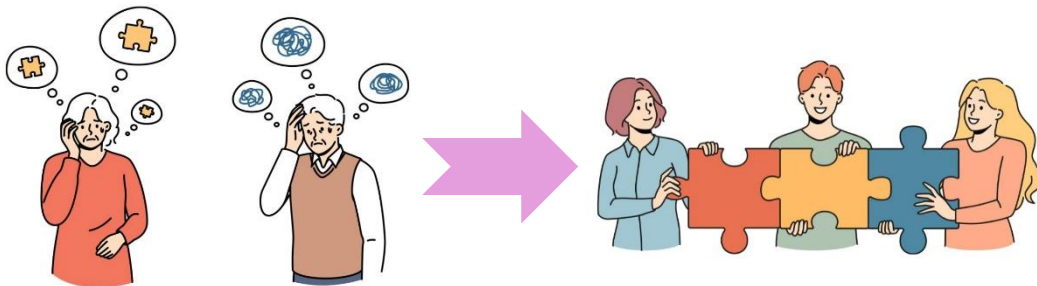


ACP： アドバンス・ケア・プランニングについて



本人の意向を尊重した意思決定支援は、多くの人が大切だと感じています。元気なうちからもしものことを考えるのに抵抗を感じる人も多いのではないのでしょうか。

最近では、先々のことをだけを話し合うのではなく、まず現在の健康状態について話し合い、本人が先々のことを話し合う準備が整うまで待ち、その時にタイミングを逃さずかかわることが大切だと言われています。

患者さん本人がこれからのことを考えられるよう、まずは今の困りごとを、ご家族や支援して下さる方たち、そして主治医や医療スタッフと一緒に話し合ってくださいませんか。